

2023年度  
くらしの課題解決に関する  
基本方針に係る取組状況

旭川信用金庫 2024年6月



# くらしの課題解決に関する基本方針に係る取組状況

2024年6月

当金庫は2017年に「お客さまの資産形成・資産運用に関する基本方針」を制定し、当金庫の経営理念・経営姿勢に基づき、当金庫の企業文化であるホスピタリティ精神のもと、お客さま本位の業務運営を推し進めてまいりました。

本方針の理念は資産形成・資産運用の分野以外にも適用してまいりましたが、2022年9月に、方針名称と内容を改正し、お客さまのさまざまな課題への解決提案に対し、より一層幅広く適用することを明確にしております。

なお、今後も取組状況については定期的に確認・公表し、方針自体も適宜見直しを行います。

# I 取組方針および取組状況

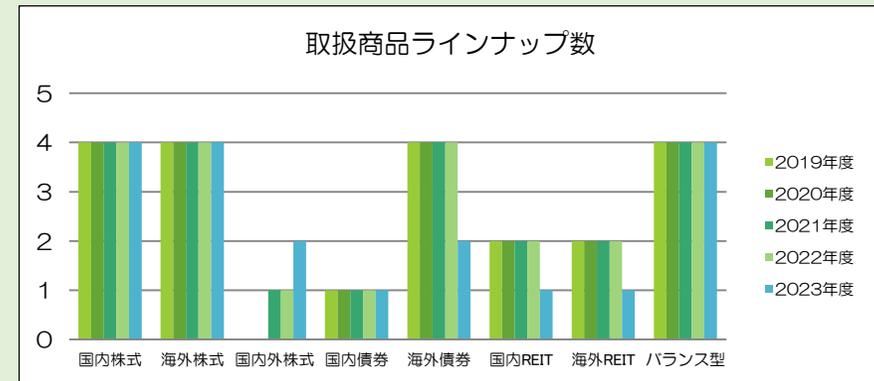
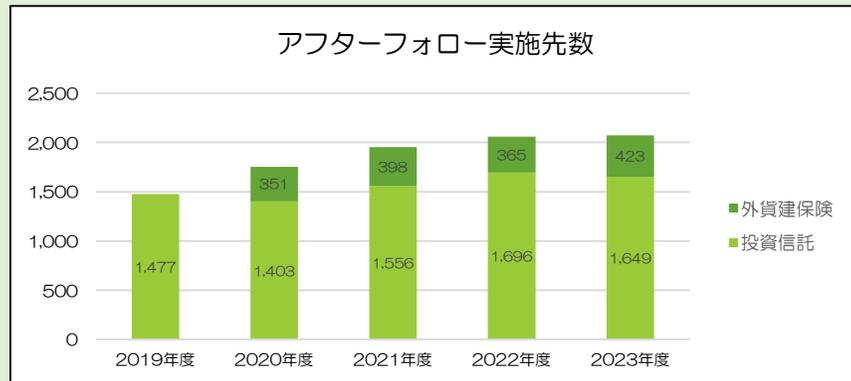
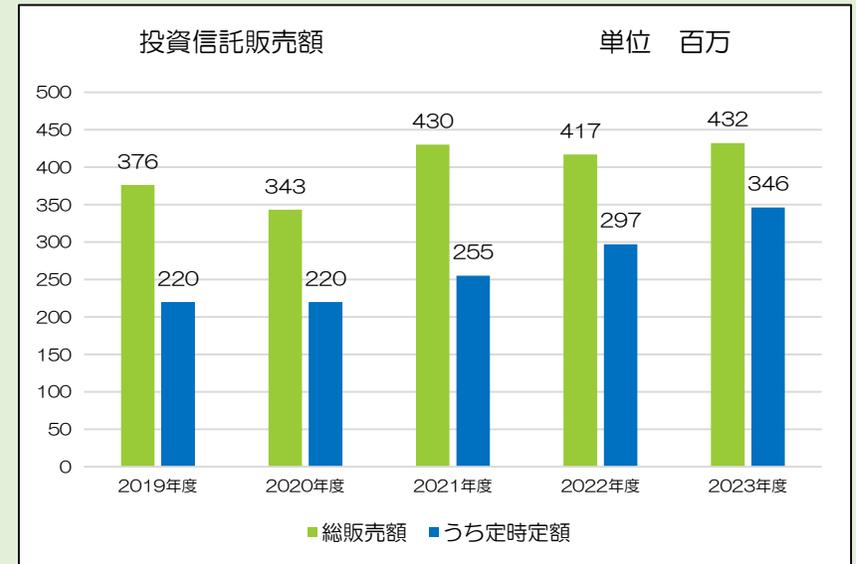
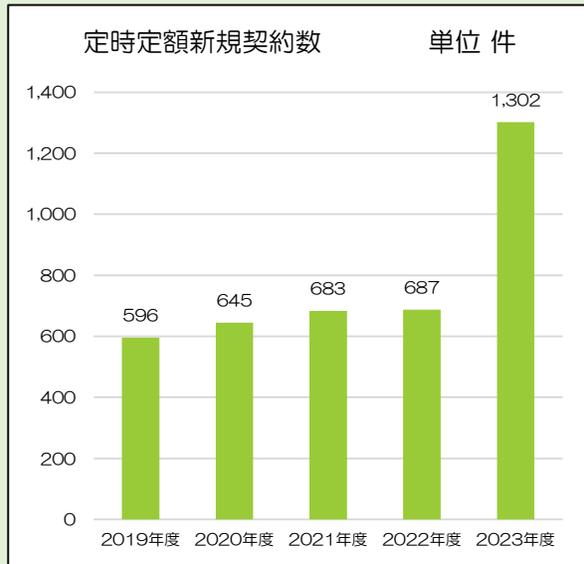
## <方針1 お客様本位のコンサルティング>

- (1) ご提案に際しては、お客様の最善の利益を意識し、ご資産の状況、お取引の目的、リスクに関する考え方、そして将来に向けてのライフプラン等を踏まえ、さまざまな課題の解決に向けた最適なお提案を行います。
- (2) 商品やサービスのご利用開始後も、投資環境やお客様のニーズ、ライフプランの変化等に応じ、必要な情報の提供とコンサルティングを継続します。
- (3) お客様のさまざまなニーズや課題の解決にお応えできるように、厳選した商品やサービスをラインナップします。なお、取扱商品等の採用に際しては、利益相反等、お客様の不利益に十分留意し当金庫の規程に則った審査を行います。

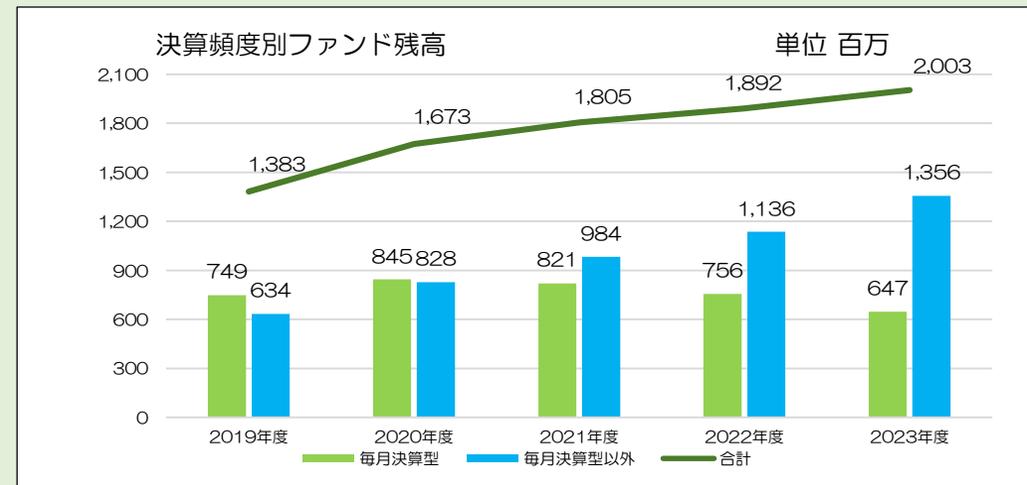
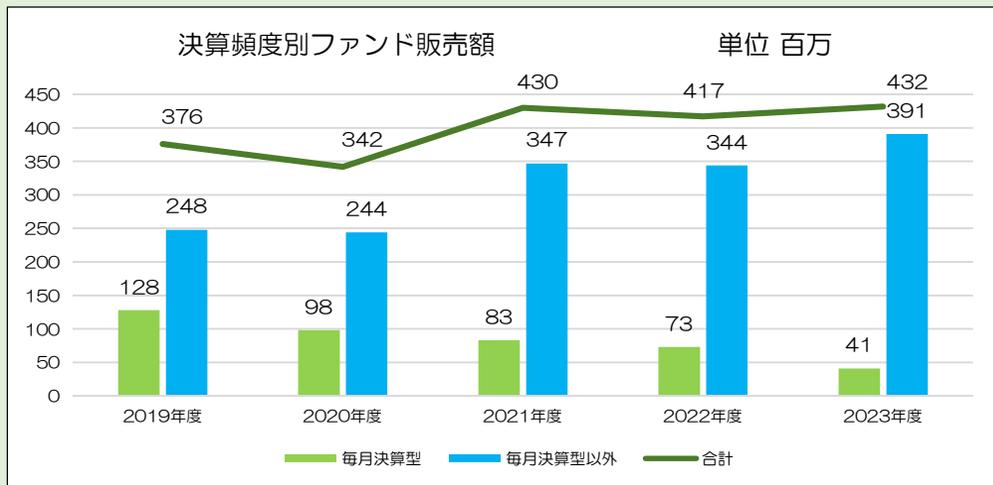
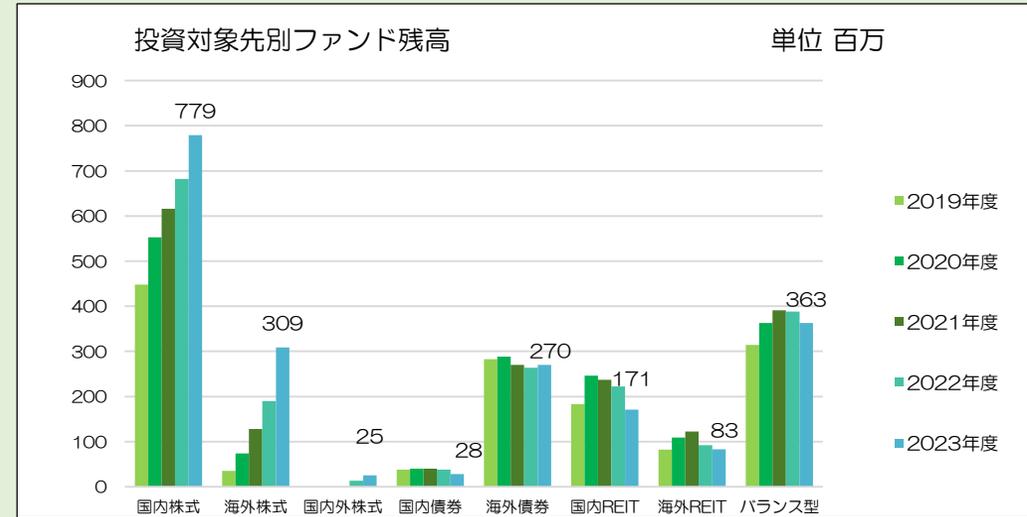
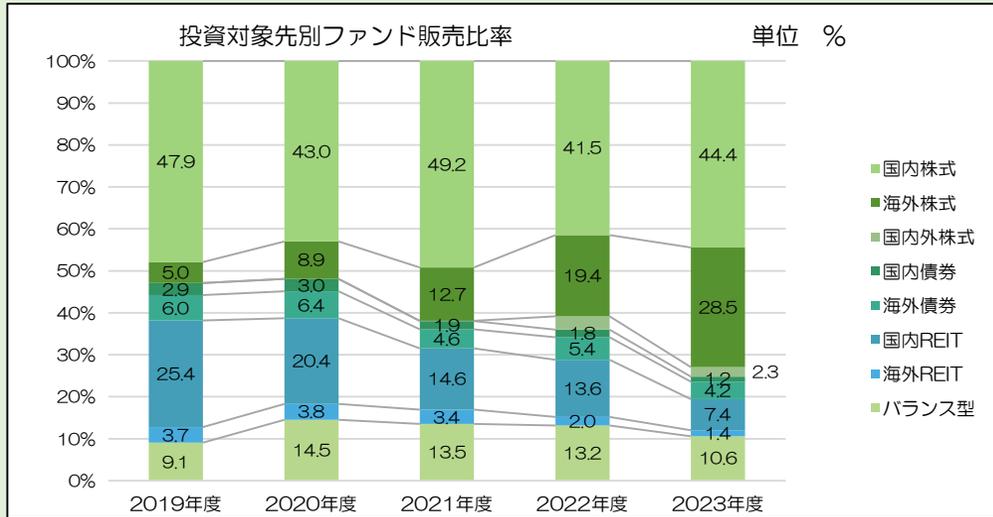
## <取組状況1>

- (1) 安定的な資産形成に有効な積立投信（定時定額買付サービス）をおすすめしております。新規・総契約数共に増加しております。
- (2) 投資信託ご投資後も定期的に必要な情報の提供やコンサルティングを行っております。
- (3) 多様なニーズにお応えできるよう、様々な投資対象商品をラインナップしております。  
※当金庫は金融商品の組成には携わっておりません。
- (4) 長期での資産形成ニーズのあるお客様には、複利効果の説明も含めて1年決算型等をご提案しております。

# I 取組方針および取組状況



# I 取組方針および取組状況



# I 取組方針および取組状況

## <方針2 お客様にご提供する情報の充実とわかりやすい説明>

- (1) 各商品やサービスの特性や仕組み、リターンやリスク等について、お客様の取引経験や金融に関する知識、および提供する情報の複雑さや重要性の度合いを踏まえ、わかりやすい表現で丁寧にご説明します。
- (2) ご提案に際しては、提案商品やサービスの選定理由や提案理由についても併せてご説明します。
- (3) お客様にご負担いただく手数料や各種の費用について、それがどのようなサービスの対価なのかも含め、しっかりとご説明します。
- (4) お客様が複数の商品やサービス、ご購入方法等から選択される際は、それぞれの手数料や仕組み、制度の違い、メリット・デメリット等、適切にご検討、ご判断いただける情報を提供します。

## <取組状況2>

- (1) お客様と一緒にライフプランを確認し、ニーズやご意向に沿った商品選択のお手伝いができるよう、各種のパンフレット、リーフレット等を活用し様々な情報提供を行っております。
- (2) 投資信託に関して、基礎知識から記した「旭川しんきんの投資信託ファンドラインナップ」を用いてわかりやすくご説明しております。
- (3) ホームページ上にも、販売手数料・その他お客様が負担する費用等について情報を提供しております。

# I 取組方針および取組状況

各種パンフレット・リーフレット



ホームページ画面一例

旭川信用金庫 投資信託基準情報

• 投信の名称をクリックすると投信の個別情報が閲覧できます。

小 中 大

商品一覧 国内株式型 外国株式型 国内外株式型 国内債券型 外国債券型 バランス型 国内不動産投資型 国外不動産投資型 成長投資種 つみたて投資種

販売停止

投信分類	ファンド名	運用会社	基準価額 /前日比 (円) /適用日	純資産 (億円)	累積リターン (%) (2024年03月末)			月次レポート
					6カ月	1年	3年	
国内株式型	成長投資種 しんきん好記当利回り株ファンド	しんきんAM	30,722 -45 (04/10)	222.06	+19.37	+43.92	+66.77	📄
国内株式型	成長投資種 しんきんインデックスファンド225	しんきんAM	28,728 -143 (04/10)	647.29	+27.30	+45.32	+42.32	📄
国内株式型	成長投資種 新成長株ファンド (愛称: グロイング・カバース)	明治安田	42,081 +43 (04/10)	420.60	+12.14	+10.41	-4.45	📄
国内株式型	つみたて投資種 たわらノーロード 日経225	AM-One	23,253 -113 (04/10)	1,524.37	+27.77	+46.40	+46.01	📄
外国株式型	成長投資種 SMTグローバル株式インデックス・オープン	三井住友TAM	42,210 -25 (04/10)	2,158.86	+22.56	+42.94	+76.00	📄

# I 取組方針および取組状況

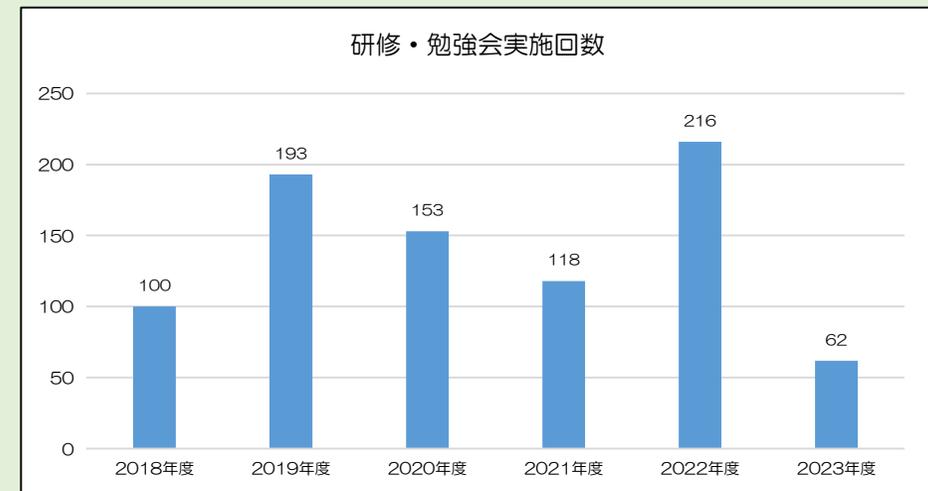
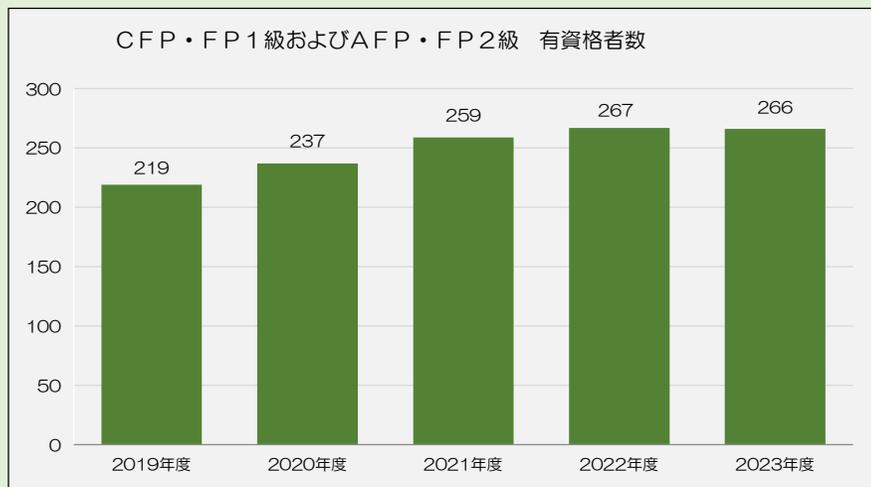
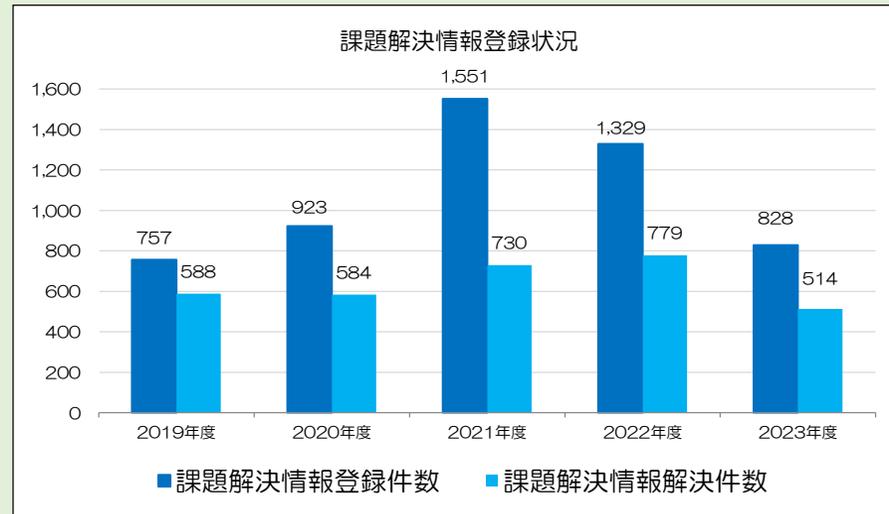
## <方針3 お客様本位のくらしの課題解決を実践するための態勢>

- (1) 高い専門性と倫理観の保持に努め、誠実・公正に業務を行い、お客様の最善の利益を追求する姿勢とホスピタリティ精神を企業文化として育み、末永くお取引いただけるよう、お客様本位の良質な商品やサービスを提供します。
- (2) お客様へ適切な情報をご提供できるよう、各種の研修等を通じ、職員のスキルアップを図ります。
- (3) 利益相反の可能性のある提案が行われることのないように、適切な業績評価の仕組みを構築し、お客様の多様なニーズやご意向を踏まえた、お客様本位のコンサルティングを実現します。

## <取組状況3>

- (1) 高い業務知識とともに優れた対応能力を有する職員を「マイスター」として任命し、お客様対応のリーダーとしております。
- (2) お客様の資産形成・運用についての的確な情報提供ができるように、「投資信託エキスパート・リーダー研修」を実施しています。また、個々に「eラーニング研修」を受講して自己研鑽機会を増やすことにより、提案スキルの向上を図っております。
- (3) 各種研修の実施の他、お客様の多様なニーズに応えるべく、職員の「FP資格」取得を奨励しております。
- (4) お客様のニーズに対し適切な提案ができる職員を育てるため、「人材育成」についても業績評価に反映させております。
- (5) お客様の課題を解決するまでのプロセスを、当金庫独自のシステムに「課題解決情報」として登録し、提案から解決までを一元管理しています。また、情報登録数や販売件数等の定量評価を実施することだけでなく、課題解決に対する取り組みが良かった職員に対して「課題解決営業賞・ベスト課題解決賞」を授与し、業績評価等に反映させる仕組みを構築しております。

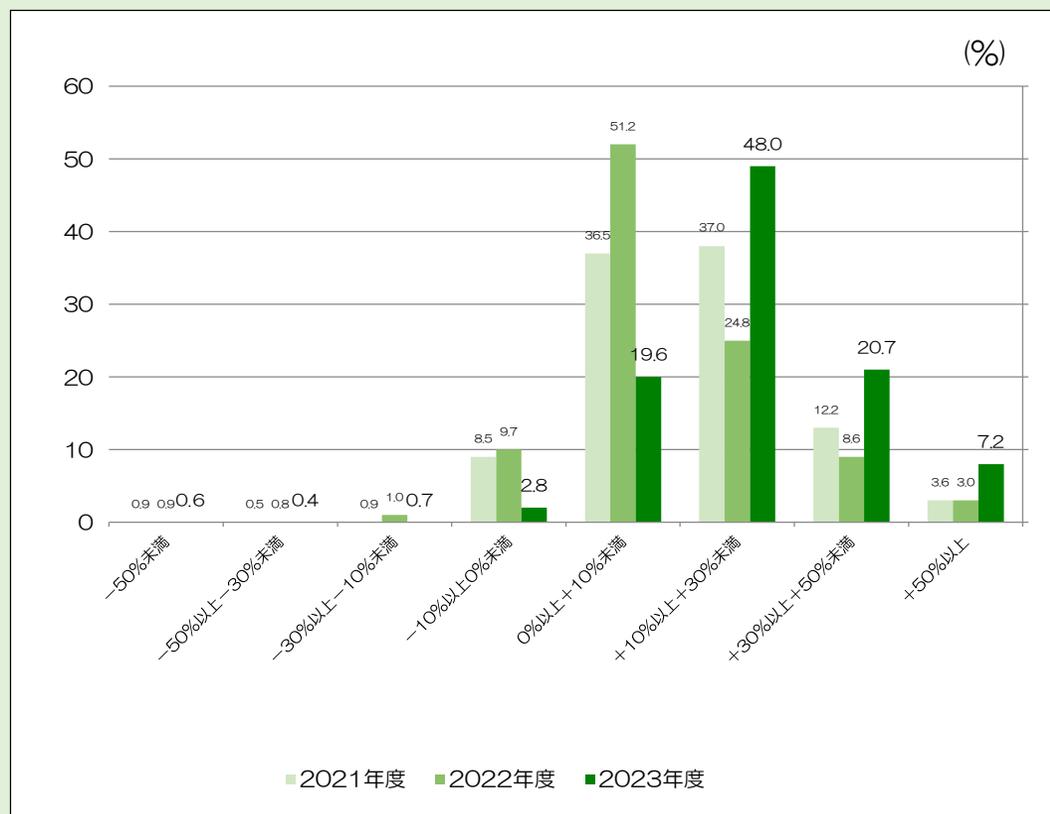
# I 取組方針および取組状況



## Ⅱ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」に基づき2024年3月末基準で算出した数値を公表します。 ※ 原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しています。

### 1. 投資信託の運用損益別お客さま比率



投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に比率を示した指標です。

この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

### 運用益がプラスのお客さま

2024年3月末→95.5%  
 2023年3月末→87.6%  
 2022年3月末→89.3%

## Ⅱ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

### 2. 投資信託預かり残高上位20銘柄 ※設定後5年以上のファンドのみ

2024年3月

順位	銘柄名	コスト ※1	リターン ※2	リスク ※3	投資信託残高 (円)
1位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	14.87%	17.00%	402,797,317
2位	たわらノーロード 日経225	0.14%	15.75%	17.03%	184,222,252
3位	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	19.90%	17.20%	182,872,114
4位	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)	1.49%	6.82%	9.24%	161,484,593
5位	しんきんJリートオープン (毎月決算型)	1.49%	0.65%	14.90%	130,478,396
6位	DIAM高格付インカム・オープン (毎月決算コース)	1.54%	3.64%	8.31%	112,781,094
7位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	13.95%	14.72%	107,294,628
8位	しんきんグローバル6資産ファンド (毎月決算型)	1.60%	7.30%	10.84%	99,130,139
9位	SMT グローバル株式インデックス・オープン	0.99%	19.40%	17.17%	71,486,742
10位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	4.04%	21.00%	65,617,920
11位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	21.66%	22.80%	54,367,719
12位	たわらノーロード バランス (8資産均等型)	0.14%	8.12%	10.00%	49,682,624
13位	しんきんJリートオープン (1年決算型)	1.46%	0.78%	14.88%	40,711,898
14位	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.71%	3.47%	5.52%	40,516,021
15位	ニッセイ/パトナム・毎月分配インカムオープン	2.20%	5.62%	6.42%	37,672,716
16位	新成長株ファンド	2.53%	8.35%	20.55%	30,154,282
17位	たわらノーロード 新興国株式	0.19%	7.56%	17.97%	29,443,608
18位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	-0.06%	3.60%	29,070,564
19位	しんきん公共債ファンド	0.66%	-0.85%	1.28%	27,712,705
20位	グローバルSDGs株式ファンド	2.35%	14.70%	13.69%	23,739,240

※1：コスト = 基準日時点の販売手数料(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値

※2：リターン = 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

※3：リスク = 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

## Ⅱ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

### 2. 投資信託預かり残高上位20銘柄 ※設定後5年以上のファンドのみ

2023年3月

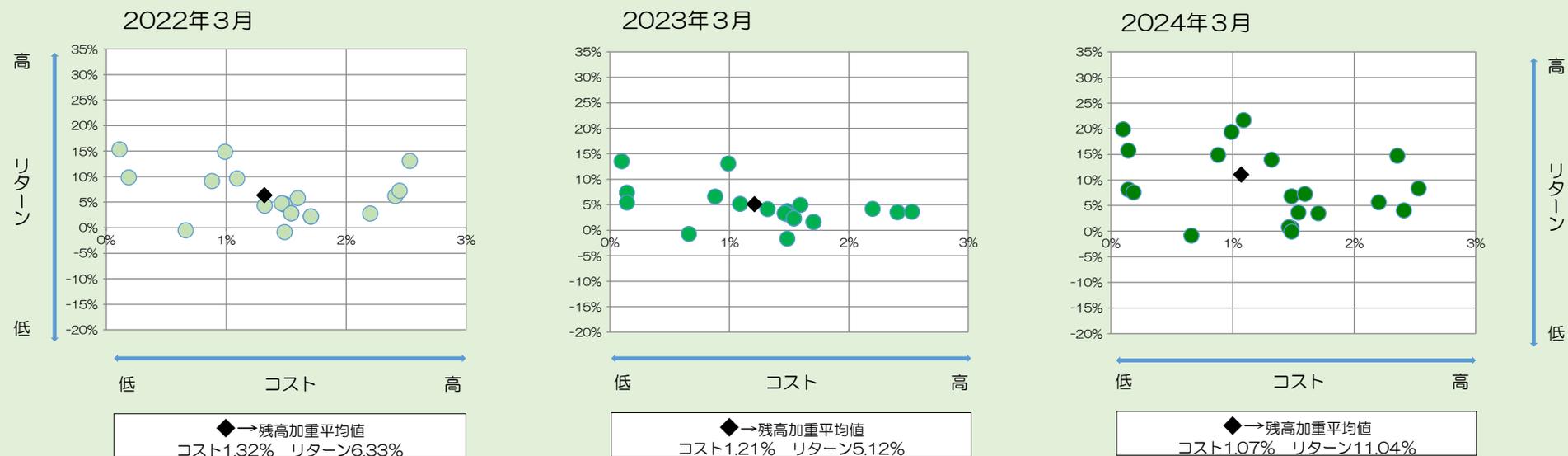
順位	銘柄名	コスト ※1	リターン ※2	リスク ※3	投資信託 残高(円)
1位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	6.60%	17.04%	423,073,343
2位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	3.74%	9.31%	190,191,364
3位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	3.17%	14.60%	176,212,231
4位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	2.31%	7.81%	129,678,750
5位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	4.97%	11.00%	105,432,103
6位	たわらノーロード先進国株式	0.10%	13.54%	17.99%	100,299,193
7位	たわらノーロード日経225	0.14%	7.40%	17.07%	98,385,101
8位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	4.16%	15.39%	87,930,270
9位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	3.52%	20.68%	75,296,474
10位	SMTグローバル株式インデックス・オープン	0.99%	13.08%	17.96%	52,917,078
11位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	3.32%	14.58%	47,159,568
12位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	1.60%	4.75%	42,354,569
13位	ニッセイ/パトナム・毎月分配インカムオープン	2.20%	4.20%	5.76%	39,140,084
14位	しんきん公共債ファンド	0.66%	-0.72%	0.95%	38,548,760
15位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	-1.65%	3.12%	38,209,793
16位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	5.16%	20.73%	34,827,777
17位	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	0.14%	5.41%	10.14%	31,786,251
18位	新成長株ファンド	2.53%	3.65%	22.27%	31,578,109
19位	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.71%	1.65%	4.75%	25,244,993
20位	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)	1.54%	2.34%	7.84%	16,970,947

2022年3月

順位	銘柄名	コスト ※1	リターン ※2	リスク ※3	投資信託 残高(円)
1位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	9.11%	16.42%	413,522,090
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	4.59%	14.50%	193,613,493
3位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	4.51%	8.99%	192,824,117
4位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	2.80%	7.69%	140,038,436
5位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	5.77%	10.41%	108,891,241
6位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	6.20%	19.75%	103,927,919
7位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	4.31%	15.28%	77,050,186
8位	たわらノーロード先進国株式	0.11%	15.31%	17.04%	60,526,700
9位	たわらノーロード日経225	0.19%	9.86%	16.45%	57,826,125
10位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	4.78%	14.47%	44,270,395
11位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	2.16%	4.11%	44,068,911
12位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	-0.85%	2.61%	41,522,039
13位	しんきん公共債ファンド	0.66%	-0.50%	0.63%	40,340,962
14位	ニッセイ/パトナム・毎月分配インカムオープン	2.20%	2.78%	5.35%	39,138,517
15位	SMTグローバル株式インデックス・オープン	0.99%	14.88%	17.01%	36,563,512
16位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	9.66%	19.86%	36,302,708
17位	新成長株ファンド	2.53%	13.06%	21.81%	25,423,367
18位	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.71%	2.21%	4.12%	19,227,440
19位	しんきんアジアETF株式ファンド	2.45%	7.24%	16.56%	17,061,867
20位	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)	1.54%	2.82%	7.72%	15,907,379

## Ⅱ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

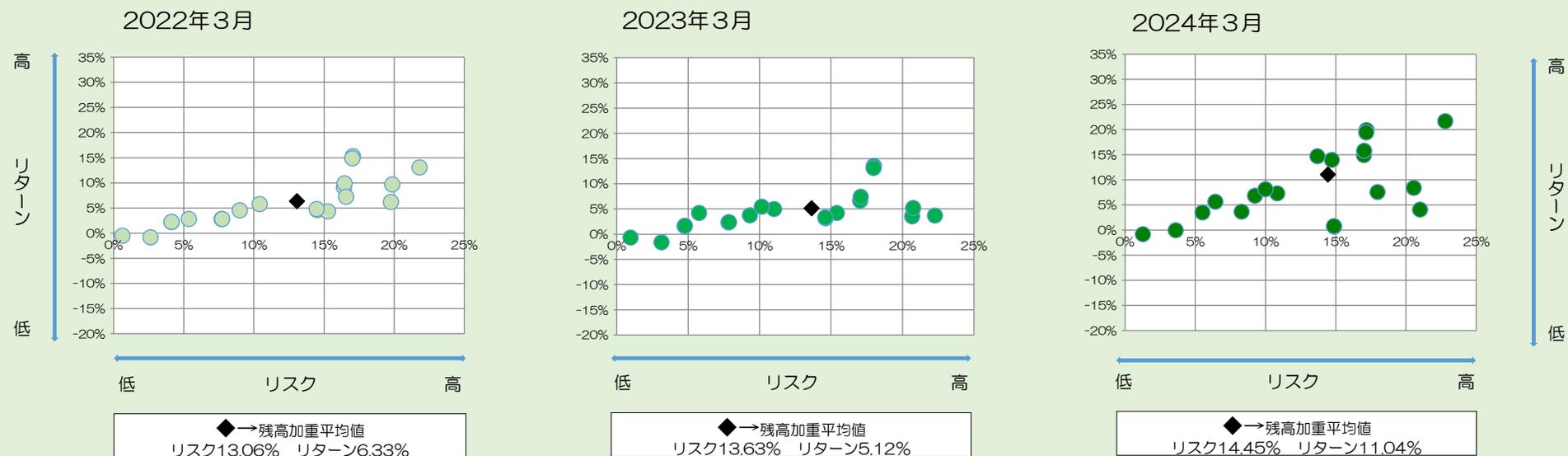
### 3. 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン



設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。これらの指標により、中長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

## Ⅱ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

### 4. 投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

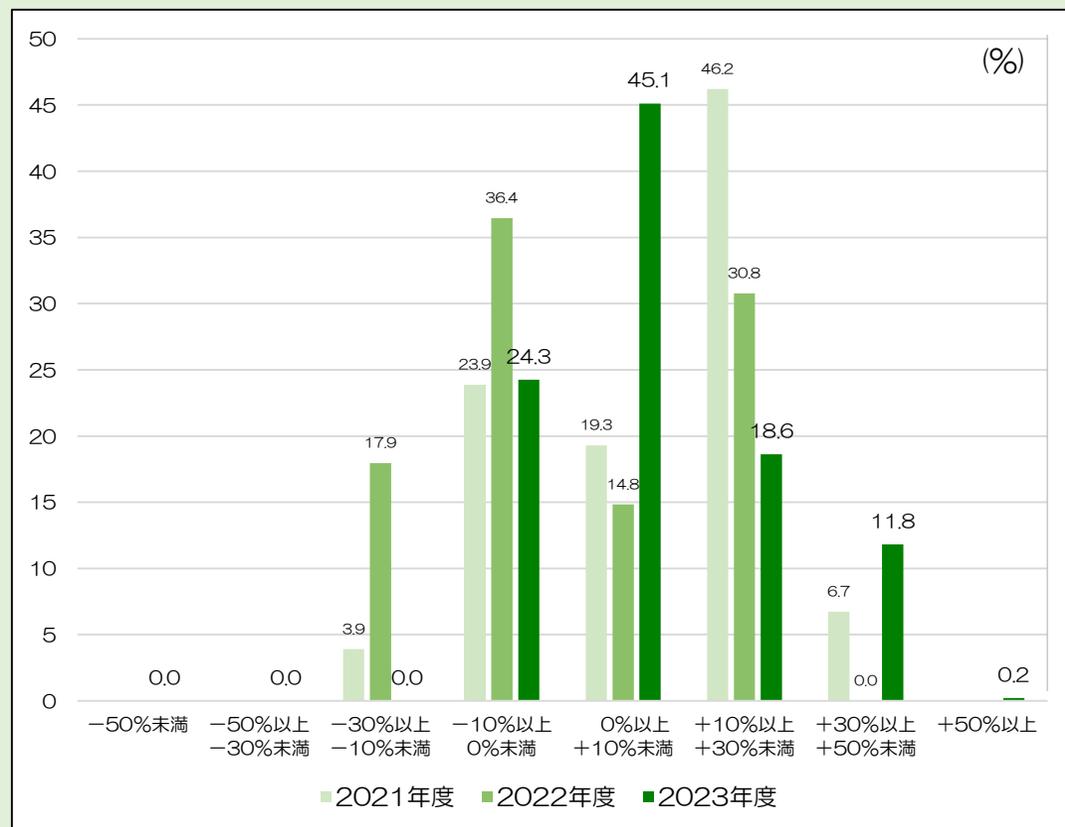


設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。これらの指標により、中長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

### Ⅲ 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

金融庁が2022年1月に公表した「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」に基づき2024年3月末基準で算出した数値を公表します。

#### 1. 外貨建保険の運用損益別顧客比率



外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有外貨建保険に係る購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別に比率を示した指標です。

外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。なお、解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

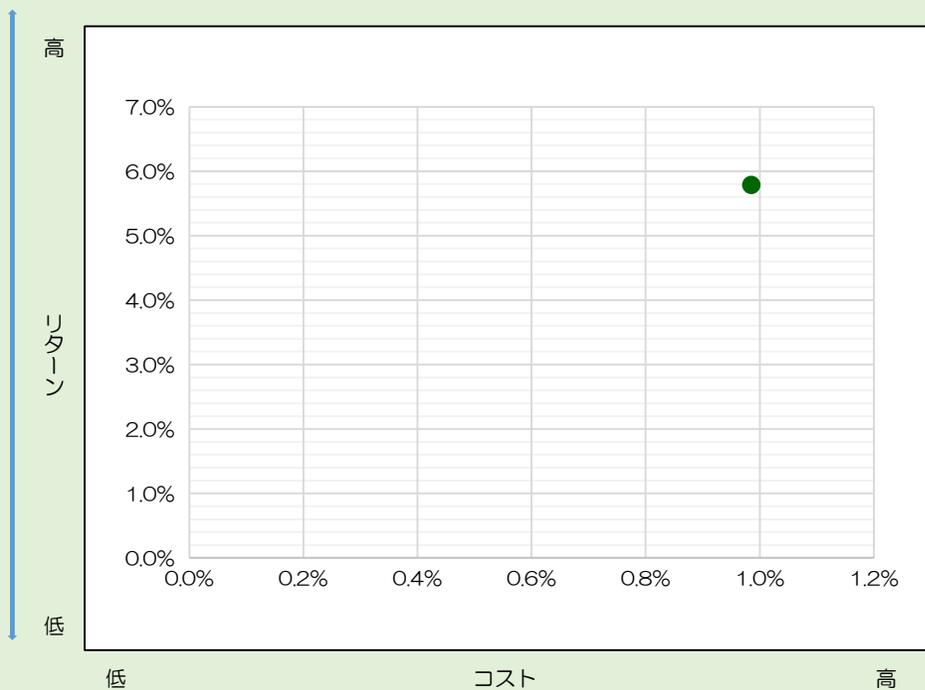
#### 運用益がプラスのお客さま

2024年3月末→75.7%  
 2023年3月末→45.6%  
 2022年3月末→72.2%

# Ⅲ 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

## 2. 銘柄別コスト・リターン

2024年3月



● →残高加重平均値  
コスト0.99% リターン5.78%

個別銘柄の対象となる契約にかかる基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額の合計額で最大上位20銘柄とします。  
※当金庫で算出の対象となる銘柄は、ふるはーとJロードグローバルのみです。

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、各契約のコスト率を各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均します。

リターン：『(基準日時点の解約返戻金額+同既支払金額) ÷ (契約時点の一時払保険料) - 1』を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均します。